

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日：平成23年11月23日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4079100162		
法人名	有限会社 北村		
事業所名	グループホーム なかま		
所在地	みやま市高田町岩津785		
自己評価作成日	平成23年11月 4日	評価結果市町村受理日	平成24年2月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do">http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 福祉サービス評価機構		
所在地	福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル5F		
訪問調査日	平成23年11月21日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>今まで長年暮らして来た生活リズムを崩さず人間らしく平等で自由に家庭的な日常生活を継続支援し、残された能力を引き出し、ゆったりと落ち着いた不安の無い心で家庭との関わりも密にしながら、又地域の行事や隣接する地域の方々との交流を深めながら過ごして頂くその実現の為には、小規模で介護の出来るグループホームが快適と決意しました。</p>
--

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>ホームを開設された管理者の方は看護師であり、訪問看護の時に在宅で暮らされている高齢者の方々やご家族の“我慢”を見つめてきた。自由に外出でき、お1人お人の願いに応じた生活ができる場所を作りたいと考え、平成16年、ご主人(ホーム長)の協力も頂きながら“グループホームなかま”を設立された。周囲は長閑な田園風景が続いているが、ホームの庭にも四季折々の花や野菜が植えられ、ご利用者の方は庭の草むしりや野菜の収穫などが日課となっている。洗濯物たたみや食事の下ごしらえ等もご利用者が手伝って下さり、1日があっという間に過ぎていっている。ご利用者の方々の優しい笑顔が印象的で、外部評価当日も皆さんでお好み焼きを楽しむことができた。地域の方からの差し入れも多く、ボランティアの方が絵手紙を毎月持ってきて下さるなど、地域の方の優しさを本当に有り難く思っている。職員のアイデアや意見も豊富で、取り外し可能な日除け予防のカーテンを作ってもらえたり、美味しい食事作りへの努力も続けられている。ホーム長と管理者のお人柄もあり、職員全員のチームワークも更に強くなっており、“地域社会と交流し、自分らしさを継続し、心より笑える生活”ができています。ホームであった。</p>
--

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼で理念を唱和し地域のイキイキふれあいサロンへ参加し、地域の方と体操したり、食事や話をして帰る、又畑が好きな人は畑に出てもらっている。利用者一人一人の笑顔を常に確かめ、笑顔で暮らしてあるかをバロメーターにしている。	平成16年、“人のためになるならば・・・”という思いで開設された。ご利用者の願いを叶えるために、ご利用者の思いに寄り添い、個別の願いを叶えてきた。以前から行かれていた三味線のサークルに行かれたり、知人宅に行かれるなど、自分らしさを継続し、心より笑える生活ができるよう、職員全員で理念の実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に参加し組長さんの入院見舞の集金等を来年度の組長の為代行する。また、隣の方に教えてもらってじゃが芋植えなどしている。	ニラやじゃがいも等の差し入れを頂く等、地域の方との良い交流ができています。地域の敬老会やイキイキふれあいサロン等にも参加しており、大牟田のボランティアの方や小学生が演奏に来て下さっている。社会福祉協議会の活動で、ホーム長が独居老人の家庭訪問も行っている。	中学生は毎年来て下さり、ご利用者と一緒に草取りをしたり、散歩もしている。学習体験で来てくれた生徒が介護職になっている事がわかり、嬉しく思っている。今後は、保育園児や小学生との交流も予定されており、ご利用者の楽しみを増やしていく予定である。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域性があり、チラシを民生委員さんに依頼した所、私が認知症の人とと思っているようで、配れないと断られたので一度きりしかしていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月のなかま新聞の紹介・当ホームの活動紹介・民生委員さんや家族代表の方からの質問を受ける・市のオムツ券発行等	2ヶ月に1回開催しており、ご家族や地域の方、みやま市の係長などが参加して下さっている。“こちらはボランティアも利用しての行事も行っており、良いですね”という意見も頂いている。地域の高齢化率が29%であり、介護施設が市内に不足している現状もあり、地域の方々の情報も頂いている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	高田町グループホーム連絡協議会を入居家族の代表者より立ち上げて頂き、市の介護保険課係長さんをまじえて2ヶ月に1回開催している。	みやま市の係長の方が運営推進会議にも来て下さり、“おむつ給付”の条件等も丁寧に説明して下さった。とても気さくな方で、色々な事を相談しやすい関係ができています。グループホームの増設やスプリンクラー設置の事等を相談すると、親身に相談に乗って頂いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の錠はしていない、身体拘束をしない様椅子に車椅子にソファーにと移動や歩行器使用にて密にコミュニケーションを取ったり、何時でも動けるようにしている。	職員は優しい方が多く、身体拘束のマニュアル等を通して、職員にも徹底されている。ご利用者は自由に過ごされており、穏やかな表情の方が多く、日々にこやかに過ごされている。運営推進会議等でも、身体拘束をしていない事を説明しており、ケアの場面でも、職員の声の大きさ等の注意も行われている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを通して、言葉の暴力も虐待に入る事を全てのスタッフに充分つたえている。		

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見制度の研修にも参加し、勉強会も開いている。	職員は権利擁護の研修にも参加しており、パンフレットもホームに準備している。入居時には制度の説明もしており、以前、1人の方が制度を利用されていた。入居後も、制度の必要性の確認をしており、必要と思われる場合は、ご家族への相談をしていく予定にしている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項と契約書で充分説明し疑問や質問もいつでも聞いて頂く様に聞きやすい雰囲気作りをしている。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見要望の箱を置いているが一度も入った事が無い。	ご家族は毎月面会に来られており、要望などを伺っており、通院介助への要望がある時は、適宜、職員が介助をしている。ご家族からも「ここは家庭的で来やすい」と言ってお下さる方も多く、職員も嬉しく思っている。家族会も検討されたが、それぞれの事情で日程が合わないこともあり、家族会は作っていない。	
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝のミーティングの時、意見や提案を聴き、なるだけ反映される様心がけている。	毎日の朝礼で職員と意見交換を行っており、日々のケアに関するアイデアや意見が多く出ている。職員が自主的に仕事の分担をされるなど、職員の自主性も発揮されており、管理者も嬉しく思っている。調理師の方や料理上手の方に聞きながら料理をされるなど、職員全員が積極的に仕事をされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	1ヶ月に3回は希望の休みを取る事が出来、休み時間も交代でして勤務交代時も早く帰れる様にしている。		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している	男女平等を心がけているが、年配者ばかりでなく若い人ばかりでもなくバランスが良い様に考慮している。又研修にて自己向上に努めている。	職員の採用時は、“誠実さ”を大切にしており、介護をすることに向いている明るい方で、お年寄りが好きな方などを採用している。年齢の幅もあり、男性職員も勤務されている。新規採用の職員にも、早く慣れて、介護を天職にして頂けるような職場環境を作られており、料理が得意等の特技も發揮して頂いている。	
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	態度だけでなく言葉使い等も人権尊重に関係することを朝礼時徹底している。	ホーム長や管理者は、ご利用者への言葉に配慮し、“眠ってるよ”という表現1つにも注意をしている。職員の明るさから声が大きくなることもあり、声の大きさも“言葉の暴力”になることがあることも伝えている。人権を尊重するケアの実践に向けて、日々の業務の中で職員と考えるようにしている。	

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の後は必ず伝達研修を行い、すべての職員への徹底をよびかける。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	高田町グループホーム協議会が2ヶ月に1回開催し、交流と相互間の活動等を紹介取り入れている。		
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	近所の子の事が気になりポストと一緒に見に行ったり、電話をして不安解消に努める		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人もですが家族とのコミュニケーションも大切と心がけている		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームなどで殆ど他のサービスは利用していない		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理を教えてもらったり、ちぎり絵を教えてもらっている		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方が絵手紙を教えに来て下さったり、玄関掲示に毎月交代で絵を書いて下さったり、朝顔や菊が咲いたので鉢を玄関に展示される		

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親密にしている友人宅へは約30分程度時間を切って遊びに行っている	お風呂の時に昔話が出る時もあり、ご主人と行かれた旅行の話などを聞いている。友人宅に出かけたり、お賽銭を持って馴染みのお寺にお参りに行かれる方もおられる。馴染みの方がホームに来られた時は、お茶菓子を出してゆっくりして頂いており、職員も世間話に加わる時もあり、居心地良く過ごして頂いている。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の用意の手伝い等を一緒にして頂いたり、散歩と一緒に出かけたりされ、仲よしの関係ができている		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お孫さんやひ孫さんが夏休みを利用して音楽を引きに来て頂く		
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	畑の如きな方などは、畑を作ったり、草取りをしたりされる	センター方式も利用し、ご本人のできる事を把握している。、散歩や草取り時も含め、ご利用者の意向を聞くようにしている。洗濯物たたみをゆっくりして頂くことで、ご本人の“できる事”がわかり、ご自分のペースで頂いている。お寂しさにも寄り添い、少しでもお気持ちが前向きになれるように支援している。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	三味線が好きで習いに行かれていたが、今は音が外れる様になり、曜日を忘れてかえって不安になられ中止されてある		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	散布や草取り、塗り絵、計算問題、パズル等その人その人で過ごしてある		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の希望や本人の希望を考慮して介護計画を作成している	ご利用者のできることを活かし、“食器洗い”“食器拭き”“エプロン洗い”“散歩”“買い物”などが計画に盛り込まれている。意思疎通が難しい方も、以前の生活歴を大切にしながら、“ボール投げ”や“歌”などの楽しみが明記されている。ミーティング時に職員と情報を共有し、計画の原案はケアマネが作成している。	計画は“ご利用者のもの”と言う視点を持って、表現などにも配慮していく予定である。ご本人とご家族の役割も明記し、短期目標をより具体的に書いていくことで、職員同士の目標の共有も深くなることが期待できる。今後の取り組みに期待していきたい。

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は勿論ミーティングで変化についても話し合い活用している		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	腰痛、肩痛にて柿園マッサージより往診にも来て頂き、かかり付けの受診には家族の方が今日は行けないからと言われた時は、代わりに受診に行かせていただく		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	敬老会等は民生委員の方や、組長さん等がお世話頂き、日中楽しんで貰っている		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までのなじみの病院に受診して頂いている	通院介助はご家族にお願いしているが、ご家族が行けない場合は職員が同行しており、受診結果の共有もできている。管理者が看護師でもあり、日々の早期発見、早期対応も行っており、訪問看護ステーションとの連携体制も取り、日曜の対応ができることの確認もできている。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	巻爪などは形成外科をアドバイスして頂いて受診している又訪問看護も必要時は受けている		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問看護ステーションすいせんと密にしている		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期をホームで迎えたいとの希望で訪問看護と受診でターミナルまで行った	「ホームを家と思っており、母を病院で死なせたくない」とホームでの看取りの相談があり、ヨコクラ病院と訪問看護ステーションとの連携も行い、22年10月、眠られるように永眠された。管理者が看護師でもあり、職員とも協力しながらの終末期ケアが行われ、最期まで経口摂取が行われた。看護師が勤務しており、終末期ケアができるということが理由で、入居を希望される方もおられ、“最期はここで”・・・と言う方も多い。	

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	誤嚥時のタッピング、体位など施方訓練及び急変時に向けて消防署の救急救命等の研修を受ける		
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防団及び消防署の火災訓練等も消防署より来て頂いて行っている	23年3月にはご利用者と一緒に、10月には消防署と防災点検者の方も一緒に昼夜想定訓練が行われた。近隣の方は高齢者の方も多く、地域の消防団や近所の若い人の応援が頂ける体制ができている。災害時の備蓄として、非常食(缶詰・飴玉・お菓子・水)等を準備しており、救命救急の研修も受けている。	
38	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	例えば歩行器を使って歩行訓練を嫌がられたので、庭の水撒きやお花見学等を行ったり工夫している	元気な職員もおられ、声の大きさや言葉遣いにも配慮するように努めてきた。トイレに座る時にタオルをかけた、外のドアを閉めるなどの配慮もしており、洗身時も、できる所は自分で洗って頂く等、羞恥心への配慮が行われている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴時の洋服選びをして頂いたり、散歩を拒否される時は中止している		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	塗り絵やパズル等も希望に応じて頂いているし洗濯量等それぞれに支援している		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人の方はまだ化粧をされるのでして頂いたり、外出時は交更されたりその方に応じて化粧品の買い物もしている		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食台拭き、食器洗いや拭き上げ、又エプロン洗いやじゃが芋皮むき等の能力に応じてしている	リビングの一角に対面式の台所があり、下ごしらえや片づけを手伝って頂いている。ネギ、ニラ、大根、玉ねぎ等の庭の野菜も使用して、肉じゃがなどの好物も作られている。職員も一緒に食事をされており、年に1回は、うどん等の外食も楽しんでいる。お弁当等を作って、近くに花見に出かけることもある。	

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	きざみ食、ミキサ食等、その人に合わせている		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きを施行し出来られない方は介助している		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜間オムツの方もトレーニングパンツに全員交換してトイレ誘導をしている	できるだけトイレで排泄できることを大切にしており、車いすの方もトイレに行かれている。排泄が自立している方も半分おられ、排泄パターンを把握し、必要に応じて個別の誘導が行われている。パッドに失禁される事が少なく、ご家族からも経済的負担が少ないことを喜んで頂いている。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の時は水分量が不足していないか、運動量を増やしたり繊維物を残されていないか等見ている		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	春に花見に出かける時その日だけ急いでもらったら、それが何ヶ月も心に残され、やはり配慮が足りなかったと反省した	お風呂場が広いこともあり、冬等はあらかじめ暖房を付け、温度差を少なくしている。ご利用者の自宅の庭にある柚子を職員も一緒に採りにいき、たくさん浮かべた柚子湯を楽しまれている。みかんを頂くこともあり、みかんの皮を浮かせたり、職員との会話も楽しまれている。入浴を拒まれる方にも声かけを工夫している。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お昼寝する方はして頂いている。眠れない時は昼間なるべく会話をもったり適度に身体を動かせる様に工夫している		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	便通のコントロール等は特に配慮して行っている		

自己	外部		自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩や運動が嫌いな方も、お花が綺麗に咲いているので飾りませんかと伝えると、花を取りに行かれ、適度に運動をされる		
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	イキイキふれあいサロンや地域の行事等に参加している。茶会等も声かけをして頂いた時は出かけている	庭での草むしりや花々の手入れも日常で、1日があっという間に過ぎていっている。ホーム前は長閑な田んぼが続いており、天気の良い日は毎日散歩をされている。近くにできた道の駅にアイスクリームを食べに行かれたり、大牟田のゆめタウンにも買い物に出かけ、季節に応じた花見(桜やひまわり等)も楽しまれている。	外出をされると喜ばれる方が多く、今後も新しくできたイオン等にも外出したいと考えられている。遠出のドライブも企画し、楽しく気分転換ができる機会を増やしていく予定にしている。
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で財布を持ってある方もあり、目薬や冬のホッカロン、菓子、化粧品を買われる方もある		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望時はかけて頂いている。誕生日や敬老の日には特に多い		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光に対しては直接顔等に太陽が当たらない様、短いカーテンを利用して工夫している	広いリビングは南向きで日当たりも良く、四季折々の木々や花々を眺めながら過ごされている。“外の空気に触れてもらいたい”との思いから、リビング外のデッキにスロープが作られた。デッキでのお茶タイムだけでなく、庭にもベンチを置き、日向ぼっこを楽しまれており、庭を回って花を眺めることもできている。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の隅に長椅子を置いている所で2~3人で話したりされる		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ソファを持ち込んだり使い慣れたタンスやマッサージチェアを持ってある	各部屋によって温度差があるため、全室に温湿度計を設置し、加湿器も使用しながら、温室度管理が行われている。ベッドや布団なども持ち込んで頂いており、趣味の植木をお部屋に置き、ご自分で手入れされている方もおられる。ご家族の写真やちぎり絵なども飾られ、安心して過ごせる居室となっている。	

自己	外部	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自力では立ち上がる事が歩行が出来ない方は歩行器を使用して自由に部屋へ行ったり、外を眺めたり、トイレに行ったりされてある		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

事業所名: グループホームなかま

作成日: 平成 24 年 1 月 31 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	外出をされると喜ばれる方が多く、今後も新しく出来たイオン等にも外出したいと考えられている。遠出のドライブも企画し楽しく気分転換ができる機会を増やしていく予定にしている。	社会と交流を密にする(社会見学)イオン	年間行事に組み入れる。	6 ヶ月
2	2	中学生は毎年きてくださり、ご利用者と一緒に草取りをしたり、散歩もしている。学習体験で来てくれた生徒が介護職になっていることがわかり嬉しく思っている。今後は、保育園児や小学生との交流も予定して、ご利用者の楽しみを増やしていく予定である。	毎日の生活のマンネリ化を防ぎ、社会との交流を密にする。	年1回から取り組みたい。年度初めに訪問に来ていただく依頼書を提出する予定。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月